

窓口業務の民間委託、総合窓口化、庶務業務の集約化等の実施状況について

窓口業務の民間委託の実施状況

令和3年4月1日時点

	導入団体数	市区町村数	割合
全市区町村	490団体	1,741団体	28.1%
指定都市	18団体	20団体	90.0%
特別区	21団体	23団体	91.3%
中核市	51団体	62団体	82.3%
指定都市・中核市以外の市	284団体	710団体	40.0%
町村	116団体	926団体	12.5%

(※) 内閣府通知で民間事業者に取り扱わせることができると整理された窓口業務のいずれかを委託している団体数

総合窓口の導入状況

令和3年4月1日時点

住民等からの各種申請等（戸籍・住民基本台帳業務、税証明、福祉業務等）に関する受付部署を複数部署から1部署に集約し、例外的なケースを除きワンストップで対応が完結する取組。

	導入団体数	市区町村数	割合
全市区町村	253団体	1,741団体	14.5%
指定都市	9団体	20団体	45.0%
特別区	7団体	23団体	30.4%
中核市	22団体	62団体	35.5%
指定都市・中核市以外の市	123団体	710団体	17.3%
町村	92団体	926団体	9.9%

庶務業務の集約化に関する実施状況について

令和3年4月1日時点

人事・給与・旅費・福利厚生等の庶務業務について、庶務事務システム等を使用して発生源入力を行い、審査確認等の担当部局を集約し、各部局の庶務担当者の業務を削減する取組を行っていることをいう。

	導入団体数	市区町村数	割合
都道府県	47団体	47団体	100.0%
全市区町村	593団体	1,741団体	34.1%
指定都市	17団体	20団体	85.0%
特別区	23団体	23団体	100.0%
中核市	38団体	62団体	61.3%
指定都市・中核市以外の市	329団体	710団体	46.3%
町村	186団体	926団体	20.1%